系統連系申請参考資料 (九州電力)

- ■パワーコンディショナ
- ■ハイブリッド蓄電システム

- ※系統連系申請書類につきましては、電力会社様より申請者の方が必ず原本を 入手くださいますようお願いいたします。
- ※参考記入例の電力申請資料は、お取寄せいただいた電力申請資料と書式が 異なる場合がありますが、同様の記入項目に記載例を基に記入してください。

三洋電機株式会社

九州電力

再生可能エネルギー発電設備からの電力販売に関する申込書〔低圧〕

認定書類提出時用 申込先 事業所

「再生可能エネルギー発電設備からの電力受給契約要綱」(以下「契約要綱」という。)を承認のうえ、九州電力送配電株式会社に 電力系統への再生可能エネルギー発電設備の連系ならびに電力の買取(買取終了)を申込みます。なお、当申込は農地法その他法令 に違反しているものではなく、申込手続きは下記の申込代行者及び電気工事組合に委託します。

また、以下のいずれかに該当する場合、本申込みは撤回するものとし、本申込みに基づく九州電力送配電株式会社との契約が既に 成立している場合であっても、当該契約が九州電力送配電株式会社によって解除されることに同意します。

- ・電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(以下「再エネ特措法」という。)第9条に基づき経済 産業大臣から受けた事業計画認定の効力が失われた場合
- ・九州電力送配電株式会社が再エネ特措法施行規則第14条に定める「正当な理由」のいずれかに該当すると判断した場合
- ・受給開始希望日を経過してもなお電気の供給を開始しない場合(ただし、特段の理由があると九州電力送配電株式会社が認めた
- ・九州電力送配電株式会社が契約要綱に基づき算定した発電設備の系統連系に必要な費用を九州電力送配電株式会社の定める支払 期日までに支払わない場合

														<u>≪ 九</u> 州	電力送	配電	12人作	刺 ≫				
申込月日	年		月		∄	(連系	希望日 系、変更、	撤去)		年	月		∄		受付日適用日			年年		月月		日日
					<u> </u>				<u> </u>		_			1136	~							رت
発電種類	太陽光] 風	 カ		水力		也熱	バ	イオマン	z											
	余剰配線	泉		\Rightarrow	売電	形態	余剰		全量	7												
配線方法	全量配約	人		\Rightarrow	引込	方法 [】 Y分屿	支 🔲	別引込			Rの場合は Rの場合は			記入くだる	ţい。						
1. 申込内容	玛	見場に	応じて	選択																		_
申請租	」		新設		再点		撤去	発電	設備の変	更	名	義変更		振込	先口座	の変見	E					
			その	他内容	『変更)
ご契約者	■ 主所 _{※1}	₹											電	話		()					\prod
(お客さま作	主所)																					
フリカ	ĭ ナ■																					Ш
ご 契 約 者 *法人の場合は「会社 「役職名」「代表者氏名	:名」																			(E PD	
設備住所(受系 *ご契約者住所と同一 記入不要		₹											電	話		()					
フリカ	j ナ																					
設 備 名	3 称																					
*個人のお客さまは	記入不要																					Ш
供給地点特別	定番号	0	9	0											0	0	0	0	0	0	0	0
ご安山の ギ	· /+ /+	〒 (住	E所)				ı		1													ᅦ
ご案内の送 *上記契約者住所、	契約	,,-																				\dashv
者氏名と同一の均 記入不要		(B	氏名)												電話			()			
雨山昌到林	弗田の		ご契	約者		案内送	付者 🗌	その他														
電力量計等 ご 請 ऋ	費用の	(信	E所)																			
		(B	行名)																			_J

- スマートメーターを取り付けた場合、検針結果(購入電力量確認票)を送付する住所となります。
- ※2 申込書を受領後、九州電力送配電株式会社が購入電力の受給を承諾した場合に、契約成立の証として「電力受給契約のご案内」を発送いたします。 再発行は原則として行ないませんので、大切に保管してください。なお、インターネットによるお申込みの場合、書面による交付は行いませんので、インターネットから申込件名をご確認いただき、ダウンロードをお願いいたします。

≪九州電力送配電記入欄≫

1	計算区	営業剤	f	地区	作美			番	号		種	別

2. 発電設備		ンバータを複数設置している場合、もしくは発電設備の増減および子メーター取付がある場合は、追加資料「1.発電設備概要」「2.複数台設置状況」へださい。
発電設値	備 出 力	発電設備 (最大電力)
再生可能エ以外のその他類		1. 設置している 2. 設置申込み中 3. 設置していない 1 または2を選択時は追加資料「3. 今回お申込みの再生可能エネルギー発電以外の発電設備の設置
今回お申込 再生可能エネル		□ 1. 設置している
認定	I D	認 定 年 月 日 年 月
施設	種 別	□個人住宅 □集合住宅 □事務所・店舗 □病院 □学校 □公的機関 □寺院・神社 □モデルハウス □その他(
ご案内への 貼付要否の		□営業者 □営業者以外
添付資料	JET認証品	✓ 様式1-A(低圧太陽光発電〔JET認証品〕用系統連系資料)
	JET認証品 以外の認証品	□ 様式1-2 □ 様式1-3 □ 様式1-5 □ 様式1-6 □ 様式1-7 □ その他発電設備仕様等
申込代行? (問合せ	者情報 : 先)	〒 (住所) (会社名) (電話番号) (電話番号)
作業時および	び異常時	(連絡責任者)

※3 ご契約者さまが営業者に該当し、当社が「電力受給契約のご案内」を書面にて交付する場合、印紙税法上、収入印紙の貼付が必要となります。そのためにご確認させていただくものです。なお、ここでいう営業者とは、印紙税法別表第1の17号文書非課税物件欄2に規定する「営業」を行う者をいいます。ご契約者氏名が個人の場合も、個人商店等の代表者である場合等、ご契約者さまが営業者に該当する場合は、「営業者」をチェックしてください。

接続契約の締結後、事業計画認定書類と併せて 当書面(認定書類提出用)をご提出ください。 なお、希望日に変更がある場合は、修正のうえ ご提出をお願いします。

1		1 1	/	/·····································	· /···································
			田マ た		⇒રાત્ર⊹
				: 1107 /117	: 認正
			214704	1 /// / L	: PL-7C
			\/	\	
1		, (***************************************	***************************************

再生可能エネルギー発電設備からの電力販売に関する申込時の追加資料 ^{九州電力}

「再生可能エネルギー発電設備からの電力販売に関する申込書」とあわせて本資料を九州電力送配電へご提出ください。

1. 発電設備概要(増設	设時または減設時のみ記	へ ハイブリッドシステム 入) (蓄電池あり)のと					
発電設備出力 発電記 (既 設) (最大品)		kW 設備 W× 内訳 W×	枚枚枚	インバー (定格出力			kW
発電設備出力 発電調 (増減設) (最大上		設備 W× 内訳 W×	枚枚枚	インバー (定格出力			kW
(子メーター設置有無)		•					
子メーター設置	□ 有 □ 無						
(子メーター設置有の場							
①既設分 計器番号	指示数	女	乗率	倍	検満	年	月
②増設分 計器番号 [指示数	女	乗率	倍	検満	年	月
取付場所							
2. 複数台設置状況(複		 合のみ記入)					
インバータを複数台設置 されている場合に記入	1系列	2系列	3 系	[列		4系列	
発電設備 (最大出力)	kW	kW		kW			kW
(AC/CII/I)	W×I 枚	W× D 枚	\mathbb{W}	枚		$\mathbb{W} \times \mathbb{H}$	枚
設備内訳	W×I 枚	W×III枚	$\mathbb{W} \times$			$\mathbb{W} \times \mathbb{H}$	一枚
インバータ	kW	kW		kW			kW
(定格出力) ※最大出力・定格出力は小	<u> </u>			1111		·	
3. 今回お申込みの再生							
		している」、「設置申込み	中」を選んだ	場合は以下を		ください。	
	出力	[] [H] [kW	I	
┃ ┃ 今回お申込み再生可能	再工ネ	☑ 太陽光 □ 地 熱	□ 風 カ□ バイオ		Ш	水力	
エネルギー発電以外の	種類	□ 家庭用燃料電池	ガスエ	ンジン(エコ	コウィル	ン等)	
⋛電設備	その他						
人	その他	☑ 蓄電池	□ その他		11 レーカ	>設置しない)
「 該当する箇所を)	逆潮流防止リレー	✓ 逆潮流防止リレーを設置上記で「逆潮流防止リレー	置する を設置する」を	逆潮流防止 選んだ場合は	、逆潮流)
		☑ 逆潮流防止リレーを設置 上記で「逆潮流防止リレーを 検出用センサーの取付位置	置する を設置する」を (負荷側又は系] 逆潮流防止 選んだ場合は 統側) を選ん	、逆潮流でくださ	応防止リレーの い。)
「 該当する箇所を)	逆潮流防止リレー 及び 検出用センサーの 設置状況	✓ 逆潮流防止リレーを設置 上記で「逆潮流防止リレーニ 検出用センサーの取付位置 検出用センサーは	置する を設置する」を (負荷側又は系 太陽光発電の技	登潮流防止 選んだ場合は 統側)を選ん 接続点を基準に	、逆潮流 でくださ ニ「負荷f	で防止リレーの らい。 則」に取付)
「 該当する箇所を)	逆潮流防止リレー 及び 検出用センサーの	✓ 逆潮流防止リレーを設置 上記で「逆潮流防止リレー 検出用センサーの取付位置 検出用センサーは ✓ 検出用センサーは	置する を設置する」を に負荷側又は系 、太陽光発電の技法 、太陽光発電の技法 、大陽光発電の技	」逆潮流防止 選んだ場合は 統側)を選ん 接続点を基準に 接続点を基準に	、逆潮流 でくださ こ「負荷(こ「系統(よ、リレー)	で防止リレーの い。 側」に取付 側」に取付	
「 該当する箇所を)	逆潮流防止リレー 及び 検出用センサーの 設置状況 ※再エネ以外の	✓ 逆潮流防止リレーを設置上記で「逆潮流防止リレーを設置 検出用センサーの取付位置 検出用センサーは 検出用センサーは (注)逆潮流防止リレーを 況及び検出用センサ	置する を設置する」を (負荷側又は系 、太陽光発電の技 、太陽光発電の技 設置す 、ハイブ ・ というでは というでも というと というと というと というと というでも というと というでも というと という という という という という という という といも という という という という という という という という という という	」逆潮流防止 選んだ場合は 統側)を選ん 接続点を基準に 接続点を基準に リッドパワコンには されています。必	、逆潮流でくださ でくださ に「負荷付 に「系統付 よ、リレーた ず逆潮流	で防止リレーの い。 則」に取付 則」に取付 リレーの記 ください。	设置状
(該当する箇所を チェックしてください)	逆潮流防止リレー 及び 検出用センサーの 設置状況 ※再エネ以外の 発電設備併設 の場合に記入	✓ 逆潮流防止リレーを設置上記で「逆潮流防止リレーを設置上記で「逆潮流防止リレーを機出用センサーの取付位置 検出用センサーは (注)逆潮流防止リレーを 沢及び検出用センサー (検出用センサー取	置する を設置する」を (負荷側又は系 、太陽光発電の技 、太陽光発電の技 、大陽光発電の技 、大陽光発電の技 、大陽光発電の技 、大陽光発電の技 、大陽光発電の技 、大陽光発電の技 、大陽光発電の技 、大陽光発電の技	選んだ場合は 選んだ場合は 統側)を選ん 接続点を基準に 接続点を基準に リッドパワコンには されています。必 こてを設置してくが	、逆潮流でくださ でくださ 「負荷付」「系統付 よ、リレーが ず逆潮流 ごさい。	で防止リレーの い。 則」に取付 則」に取付 リレーの記 ください。 示ください	设置状
該当する箇所を チェックしてください※設置状況(「設置してい4. 今回お申込みの住所	逆潮流防止リレー 及び 検出用センサーの 設置状況 ※再エネ以外の 発電設備併設 の場合に記入	✓ 逆潮流防止リレーを設置上記で「逆潮流防止リレー海 検出用センサーの取付位置 検出用センサーは ✓ 検出用センサーは (注)逆潮流防止リレーを 況及び検出用センサー (検出用センサー取 「設置していない」)に 2つの電気需給契約をこ	を設置する」を を設置する」を (負荷側又は系 、太陽光発電の技 、太陽光発電の技 、大場、大石 、「一〇」 、一〇 、一〇 、一〇 、一〇 、一〇 、一〇 、一〇 、一〇 、一〇 、一〇	選んだ場合は統側)を選んだ場合は統側)を基準にを基準にりいドパワコンにはされています。必てで設置してがずれかる場合の確	、逆潮流でくだされて、 で「負荷付」 「系統付」、 は、リレーないず逆潮流でさい。 を〇でほ	で防止リレーの い。 則」に取付 則」に取付 リレーの記 ください。 示ください	设置状
該当する箇所を チェックしてください※設置状況(「設置してい4. 今回お申込みの住所	逆潮流防止リレー 及び 検出用センサーの 設置状況 ※再エネ以外の 発電設備併設 の場合に記入 「設置申込み中」、 「に、電灯・動力契約の 2つの電気需給契約の 申込書にて「契約してい	逆潮流防止リレーを設置上記で「逆潮流防止リレーを 検出用センサーの取付位置 検出用センサーは 検出用センサーは (注)逆潮流防止リレーを 況及び検出用センサーは (検出用センサー取 (検出用センサー取 ていない」)に 2つの電気需給契約をご 契約がない場合はごご る」、「契約申込み中」を	量する を設置する」を (負荷側又は系 、太陽光発電の技 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽、大 、大陽、大 、大陽、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、	選んだ場合は統側)を基準に 接続点を基準に と続点を基準に とがいます。必 こてを設置してくり でいずれかさ る場合の確す。) に、既にご契	、逆潮流でくださ でくださ 「負荷付」「系統付 よ、リレーた ず逆潮流 ごさい。 を〇でほ	で防止リレーの い。 則」に取付 側」に取付 リレーの記 ください。 まんでください	设置状 い。) い。
該当する箇所を チェックしてください※設置状況(「設置している。4. 今回お申込みの住所 (電灯・動力契約の)	逆潮流防止リレー 及び 検出用センサーの 設置状況 ※再エネ以外の 発電設備併設 の場合に記入 「設置申込み中」、 「に、電灯・動力契約の 2つの電気需給契約の 申込書にて「契約してい	☑ 逆潮流防止リレーを設置上記で「逆潮流防止リレーを 検出用センサーの取付位置 検出用センサーは 検出用センサーは (注)逆潮流防止リレーを 況及び検出用センサー (検出用センサー取 「設置していない」)に 2つの電気需給契約をこ ご契約がない場合はご言	量する を設置する」を (負荷側又は系 、太陽光発電の技 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽、大 、大陽、大 、大陽、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、	選んだ場合は統側)を選んだ場合は統側)を選んだ場合を基準に を続点を基準に いっことは されています。必ってを設置してくれています。必ってを設置してくれています。かっことは ずいずれから 場合の確す。) 、、既にご契うださい。	、で、負荷(で、負荷(で、 で、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で防止リレーの い。 則」に取付 側」に取付 リレーの記 ください。 まんでください	設置状 い。) い。 約申
 該当する箇所を チェックしてください ※設置状況(「設置している・ 4. 今回お申込みの住所(電灯・動力契約の) 同一住所における 今回お申込みの 	逆潮流防止リレー 及び 検出用センサーの 設置状況 ※再エネ以外の 発電設備併設 の場合に記入 ・る」、「設置申込み中」、 「に、電灯・動力契約の 2つの電気需給契約の 申込書にて「契約している 込み中の)再生可能エネ (電気需給契約の契約種別)	● 逆潮流防止リレーを設置上記で「逆潮流防止リレー海 検出用センサーの取付位置 検出用センサーは 検出用センサーは (注)逆潮流防止リレーを 況及び検出用センサー (検出用センサー 取 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	量する を設置する」を (負荷側又は系 、太陽光発電の技 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽、大 、大陽、大 、大陽、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、	選んだ場合は統側)を選んだ場合は統側)を選んだ場合を基準に を続点を基準に いっことは されています。必ってを設置してくれています。必ってを設置してくれています。かっことは ずいずれから 場合の確す。) 、、既にご契うださい。	、で、負荷(で、負荷(で、 で、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で防止リレーの い。 則」に取付 則」に取付 リレーの記 ください。 可 対 が よください。 でください。	設置状 い。) い。 約申
 該当する箇所を チェックしてください ※設置状況(「設置している 4. 今回お申込みの住所 (電灯・動力契約の) 同一住所における 	逆潮流防止リレー 及び 検出用センサーの 設置状況 ※再エネ以外の 発電設備併設 の場合に記入 「設置申込み中」、 「に、電灯・動力契約の 2つの電気需給契約の 申込書にて「契約している 込み中の)再生可能エネ	● 逆潮流防止リレーを設置上記で「逆潮流防止リレー海 検出用センサーの取付位置 検出用センサーは 検出用センサーは (注)逆潮流防止リレーを 況及び検出用センサー (検出用センサー 取 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	量する を設置する」を (負荷側又は系 、太陽光発電の技 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽、大 、大陽、大 、大陽、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、	選んだ場合は統側)を選んだ場合は統側)を選んだ場合を基準に を続点を基準に いっことは されています。必ってを設置してくれています。必ってを設置してくれています。かっことは ずいずれから 場合の確す。) 、、既にご契うださい。	、で、負荷(で、負荷(で、 で、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で防止リレーの い。 則」に取付 則」に取付 リレーの記 ください。 可 対 が よください。 でください。	段置状 、。) ハ・。 約申
※設置状況(「設置してい ※設置状況(「設置してい 4. 今回お申込みの住所 (電灯・動力契約の 同一住所における 今回お申込みの 再生可能エネルギー	逆潮流防止リレー 及び 検出用センサーの 設置状況 ※再エネ以外の 発電設備併設 の場合に記入 ・る」、「設置申込み中」、 「に、電灯・動力契約の)2つの電気需給契約の 申込書にて「契約している 、「電気需給契約の契約種別) (住 所) 〒 供給地点特定	 逆潮流防止リレーを設置 上記で「逆潮流防止リレー。 検出用センサーの取付位置 検出用センサーは (注)逆潮流防止リレーを 況及び検出用センサー(検出用センサーの 電気需給契約をご契約がない場合はご言 契約がない場合はご言 以がない場合はご言 (ご契約名義) 	量する を設置する」を (負荷側又は系 、太陽光発電の技 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽光発電の 、大陽、大 、大陽、大 、大陽、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、大 、	選んだ場合は統側)を選んだ場合は統側)を選んだ場合を基準に を続点を基準に いっことは されています。必ってを設置してくれています。必ってを設置してくれています。かっことは ずいずれから 場合の確す。) 、、既にご契うださい。	、で、負荷(で、負荷(で、 で、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で防止リレーの い。 則」に取付 則」に取付 リレーの記 ください。 可 対 が よください。 でください。	段置状 、。) ハ・。 約申
※設置状況(「設置してい ※設置状況(「設置してい 4. 今回お申込みの住所 (電灯・動力契約の 同一住所における 今回お申込みの 再生可能エネルギー	逆潮流防止リレー 及び 検出用センサーの 設置状況 ※再エネ以外の 発電設備併設 の場合に記入 ・る」、「設置申込み中」、 「に、電灯・動力契約の 2つの電気需給契約の 申込書にて「契約している 込み中の)再生可能エネ (電気需給契約の契約種別) (住 所) 〒 供給地点特定 (契約申込み中の場合は	 逆潮流防止リレーを設置 上記で「逆潮流防止リレーは 検出用センサーの取付位置 検出用センサーは (注)逆潮流防止リレーを 況及び検出用センサー(検出用センサーの (設置していない」)に 2つの電気需給契約をご契約がない場合はご認力 る」、「契約申込み中」を ルギー発電設備のご契約内 (ご契約名義) 	量する」を を設置する」を (負荷側又は系 、太陽光発電の技 、太陽光発電の技 が上し、 で付位置は、 でいては、必 で製約していては、必 で表していては、必 で表していては、必 で表していては、必 で表していては、必 では、の では、ここでは、の では、ここでは、の では、ここでは、の では、ここでは、の では、ここでは、の では、ここでは、の では、ここでは、の では、ここでは、の では、ここでは、の では、ここでは、の では、ここでは、の では、ここでは、の では、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、こ	選んだ場合は統側)を選んだ場合は統側)を選んだ場合を基準に を続点を基準に いずれから でも は でいずれから	、で、負荷(で、負荷(で、 で、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で防止リレーの い。 則」に取付 則」に取付 リレーの記 ください。 可 対 が よください。 でください。	段置状 、。) ハ・。 約申

電力系統への発電設備の連系に関する申込みについて(FIT認定設備用)

貴社電力系統への発電設備を連系いたしたく、「再生可能エネルギー発電設備からの電力受給契約要綱」、「電力品質確保に係わる系統連系技術要件ガイドライン」、「電気設備の技術基準の解釈」及び貴社の「託送供給等約款」等を了承のうえ、下記のとおり申込みます。なお、申込手続きは下記の申込代行者及び電気工事組合に委託します。

また、以下のいずれかに該当する場合、本申込みは撤回するものとし、本申込みに基づく貴社との契約が既に成立している場合であっても、当該契約が貴社によって解除されることに同意します。

- ・電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(以下「再エネ特措法」という。)第9条に基づき経済産業大臣から受けた事業計画認定の効力が失われた場合
- ・貴社が再エネ特措法施行規則第14条に定める「正当な理由」のいずれかに該当すると判断した場合
- ・受給開始希望日を経過してもなお電気の供給を開始しない場合(ただし、特段の理由があると貴社が認めた場合を除きます。)
- ・ 貴社が「再生可能エネルギー発電設備からの電力受給契約要綱」に基づき算定した発電設備の系統連系に必要な費用を貴社の定める支払期日までに支払わない場合

申込先事業所	事業所	
ご 契 約 者 氏 名 (発 電 者 氏 名)		
ご 契 約 者 住 所 (発 電 者 住 所)	₹ (Tel)
発 電 所 名		
発 電 場 所 住 所	電柱番号	
受電地点特 <u>定番号</u> 現場に即し お 申 込 内 容	T選択 新 設 ・ 再点 ^{注1} ・ 発電設備の変更 ・ 撤去 ・ 名義変更	
発電設備の種類・出力	種 類 [同期・誘導・直流] 種 別 (太陽光) 風力、中小水力、地熱、バイオマス、蓄電池、燃料電池] 定格出力 ^{注2} kW	
希望日 (連系・変更・撤去)	申込代行者(連絡者) 年 月 日 (住所 (T _{EL} (メールアト・レス)

九州電力送配電への逆潮流 〔有・無〕

- (注) 1. 設備残置のまま解約していた発電設備を再開する場合。
 - 2. 定格出力については、逆変換装置使用の場合、逆変換装置出力(インバータ出力)と発電設備出力のいずれか小さい方の出力を記入。

〔添付資料〕各1部(正)

様式	添付資料	新設 発電設備の変更	再点 名義変更
様式1-1	発電設備運転状況	○注1	
様式1-2	系統連系資料 (太陽光発電)	0	
様式1-3	系統連系資料(太陽光発電以外)	○注2	
	系統連係資料(太陽光発電・蓄電池設備同時併設)	○注2	
様式1-4	保護装置関連設備チェックリスト	○注3	
様式1-5	系統保護装置整定値検討データ、連絡体制	0	○注4

- 〈注〉 1. 様式1-1は、低圧連系のうち、FIT認定を受けた太陽光、風力、中小水力、地熱、バイオマス発電設備を単独で連系する場合は、提出不要です。
 - 2. 蓄電池の申込みについて、蓄電池単独で申込む場合は、様式1-3(太陽光発電以外)を提出してください。

なお、パワコンの負荷側に太陽光と蓄電池を同時併設 (一体型パワコン) する場合の蓄電池の申込みは、様式1-3 (太陽光発電・蓄電池設備同時併設) を提出してください。

- 3. 様式1-4は、低圧連系の場合に限り、提出不要です。
- 4. 様式1-5は、再点や名義変更の場合には、連絡体制の欄のみ記入して提出してください。
- 5. 電力新増設に関する場合は、「電力使用申込書」、「電力販売に関する申込書」もあわせて提出してくだ

1つ目、2つ目の選択肢

下記をお守りいただき√を選択して下さい。

・弊社製出力制御装置をインターネットに接続する場合は、必ずルーターを利用してください。

その際、不正な外部指示や機器の操作の影響が無いように、ルーターのセキュリティやパスワードを適切に設定してください。
取扱いの詳細はルーターの取扱説明書を参照してください。

・なお、ルーター等のネットワークセキュリティに関する技術情報については、ルーターメーカーにお問合せください。

1. サイバーセキュリティ対策(お申込者さまにて記入)

	\ \	外部ネットワークや他ネットワークを通じた発電設備の制御に係るシステムへの影響を最小化する 対策を講じている。
対策	+	発電設備の制御に係るシステムには、マルウェアの侵入防止対策を講じている。
		発電設備に関するセキュリティ管理責任者は、発電者情報と同一である。
	K	※同一ではない場合 (氏名:)
		\

、3つ目の選択肢

発電事業者様がご判断をお願いします。 現場に即して✓を選択してください。 必要に応じて氏名を記入してください。

≪九州電力送配電記入欄≫

:お客さま記入欄

系統連系資料(太陽光発電)

① 発電	設備諸元	ᢏ(パワコ	ンを複数	数台取付ける場合	は、様式1	_ 2 (另	川紙)も	諸元を記	入の.	上、添付のこと)	ı
メ	_	カ	名	三洋電機株	式会社	1 17	不 釼 試	登録番	П	別紙1-	(c)
型			式	別紙1-	1	JE	1 部 部	豆 蚪 甾	75	力り和人工一	2
虚	Æ	+	式	<u>単相 2</u>	線式 ^(注1)	出力制	引御装	メーカ	ĺ	三洋電機株	式会社
電	気	方	IL.	(接地方式:)	1	置	型	式	電力検出ユニ	ツト品番
定	格	電	圧	0.202	[kV]	逆	 番粗	(制御方:	,	自励式電	圧型
定格	出力(パ	゜ワコン) 「	(注2)	別紙1-③	[kW]	変換	1里3貝	(市川中ノ)		電流制御	方式
発電	設備定格	各出力(/	、 ネル)	太陽電池出力	[kW]	装	過電	流制限	値	別紙1-⑥	[%]
力率	玉 一 定	制御	機能	□ 皮相電力- <mark>別紙1</mark> -⑦	一定制御	置	突 入	. 電 流	値	なし	[A]

上昇 抑制

機能

蓄電池定格出力

調整可能範囲

申請整定値

(注4)

ハイブリッドシステム

(蓄電池あり)のとき

107~113

希望する値

1 2.0kW

[V]

[V]

[kW]

注1:三相3線式の場合は、接地方式を記載するとともにパワコンの仕様及び主回路構成の分かる仕様書または技術資料を添付のこと。 (接地方式がない場合は、「-」で可)

[%]

注2:力率1の時の定格出力を記入のこと

最大出力 (注3)

商用側との絶縁方式 (注5)

※ 三相 3 線式の場合

カ

設

注3:最大出力は、仕様書やPCS製造メーカーに確認の上、誤りがないように設定力率時のパワコン出力を記入のこと

□ 有効電力一定制御

ロン出力(力率95%) パネル容量の小さい方 [kW]

□ 絶縁トランス設置

□ 絶縁トランス内蔵型

95.0

(例) <皮相電力一定制御の場合> (パワコン容量<パネル容量) 10kVA(設備容量)×0.95(設定力率)=9.5kW(設定力率における最大出力)⇒9.5kWを入力

<有効電力一定制御の場合>

10kVA(設備容量)=10kW(設定力率における最大出力)⇒10kWを入力

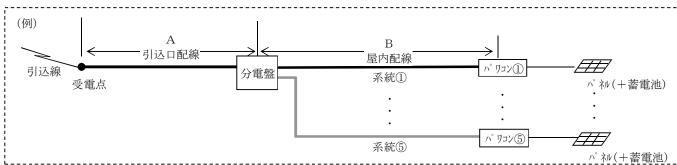
注4:パワコンの負荷側に太陽光と蓄電池を同時併設する場合に入力のこと。

率

注5:三相3線式では、商用側(電力会社低圧系統)に連系する場合、絶縁トランスの設置が必要。

② 引込口配線及び屋内配線の諸元

	線種	サイズ	距離	最大出力
A 引込口配線 (受電点~配電盤)			m	kW
B 屋内配線(配電盤~パワコン)系統①			m	kW
" 系統②			m	kW
" 系統③			m	kW
∥ 系統④			m	kW
ッ 系統⑤			m	kW



注1:既設設備についても記入のこと。

注2:最大出力は、①注3を参考にパワコン出力(力率設定時)を記入のこと。

※ 電気ご使用申込書およびお客さま設備工事設計図 (完成届) 兼施工証明書など屋内配線諸元を記載した資料がある場合は、その資料を添付することで代用可。

※ 分電盤以降が複数の系統に分かれて発電機が接続されている場合は、各々の系統の配線諸元について記入のこと。

※ また、系統が多いなど上記の記入欄に記載できない場合は、屋内配線諸元を記載した資料を添付のこと。

③ 保護協調チェックリストおよび保護継電器整定値一覧表

		0/11 / -		っよひ休護権电部 │	正定 見私			1	
				IJ	レー	タイ	マー	相数	亲工
	保	:護継1	電器等	申請整定値	推奨整定値 〔整定範囲〕	申請整定値	推奨整定値 〔整定範囲〕	申請値	電力 記入欄
構内事	客	漘	電流要素付 計電遮断器 けELCB ^(注1)	メーカ名:型 式: 定格電流:		極数素子数: 逆接続(可・	PE 不可)	ı	適・否
故		O	過電圧) V R	115V	115% [110~120%]	1.0秒	1.0秒		適・否
事故			不足電圧 「 V R	80V	80% [80~90%]	1.0秒	1.0秒 [0.5~2.0秒]		適・否
			l波数低下 「FR	別紙1-⑨	57.0Hz [57.0∼59.4Hz]	2.0秒	2.0秒 [0.5~2.0秒]		適・否
	逆	R		200W	発電設備定格出力の5%程度	0.5秒	0.5秒		適・否
お客さま単	潮流な	Ü	不足 (蓄電)	ッドシステム 也あり)のとき	ルイフ! 最大受電 (蓄電) 3%程 _度	Jッドシステム 池あり)のとき	0.5秒 [0.2~0.5秒]		適・否
独運	し		不足電圧 「 V R		80% [80~90%]		1.0秒 [0.5~2.0秒]		適・否
転防止	逆	盾 O]波数上昇) F R	別紙1-⑩	61.2Hz (60.6~61.8Hz)	1.0秒	1.0秒 [0.5~2.0秒]		適・否
	潮流あり	単独運	受動式 (注2)	方 式: <mark>電圧位</mark> 整定値: <u>8度</u>	相跳躍検出方式	検出: <u>0.5秒</u> 保持: <u>5.0秒</u>	検出時限0.5秒 保持時限5~10秒	_	適・否
	ש	転検出	能動式 (注3)	方 式:ステップ注ス 整定値: <mark>1.2Hz</mark>	、付周波数フィード・バック方式	瞬時	0.5秒~1.0秒 ※新型は瞬時	_	適・否
			復電後遮	断機投入隊	方 止	300秒	300秒以上	_	適・否
		事故	女時運転継続	(FRT) 要件適	囲の有無	有・無			

ご契約名義:

その他、協議・連絡事項

そ

注1 : 逆接続可能型であること。また、パワコンから引込口間に複数設置する場合は、引込口側のものを記載する。 注2 : JET認証登録番号が「MP」で始まる場合は、タイマーの申請整定値の保持時限は「一」で適とする。

注3 : JET認証登録番号が「MP」で始まる場合は、タイマーの申請整定値は「瞬時」で適とする。

④ 技術資料(設備に合わせて資料添付のこと) ※全ての申込みにおいて添付のこと。

他

添付チェック 資 料 名 備 考 解列箇所(遮断器種別・容量)、パワコン、分電盤、負荷、計器、変圧器 線 結 線 义 OC付ELCBのカタログ等** 極数素子数及び逆接続可・不可が明記されたもの J E T 認証証明書(写) JET認証品の場合 ・発電設備の仕様書 ・ シ ス テ ム 仕 様 書 JET非認証品の場合 · 代表機試験成績書 実機(個別)試験成績書 パワコンの仕様及び主開路構成 発電設備の電気方式が三相3線式の場合 の分かる仕様書または技術資料

その他、必要な書類の提出がある場合

設 備 諸 元 〔低圧太陽光発電 〕^{※1}

発 1	電設備全				ı		※パワ	コンの負荷側に太陽光	と蓄電池を同時併設す	る場合も当様式での提
項	目		ニット番	号等	N	0.1				
	JET 認	証 登	録 番	号	別約	£1-②				
	*		カ	_	三洋電標	幾株式会社				
	型			式	別糸	£1-①				
· ·	電 気	方。	大 *	2	単相	12線式				
発電	出力制征	割装置	メージ	カー	三洋電標	機株式会社				
設	H >2 1123 11		型	式	電力検出	ユニット品番				
備	既 設	· 新	設の	別	既設	• 新設	既設 ・ 新設	既設 ・ 新設	既設 ・ 新設	既設 ・ 新設
用全	定	格	電	圧	0.202	k V	k V	k V	k V	k V
	定格出	力 (^ °	ワコン)	※ 3	別紙1-③	k V A	k V A	k V A	k V A	k V A
投	発電設備	定格出え	り (パネ	ル)		k W	k W	k W	k W	k W
		設力	10 力	率	95	%	%	%	%	%
	力 率	力率一	定制御村	幾能	□ 皮 別編	£1- ⑦	□ 皮相電力一定制御 □ 有効電力一定制御	□ 皮相電力一定制御 □ 有効電力一定制御	□ 皮相電力一定制御 □ 有効電力一定制御	□ 皮相電力一定制御 □ 有効電力一定制御
	最 大	出	カ *	4	パワコン出力 と、パネル容	(丸率95%) 量の小さい方	k W	k W	k W	k W
迫変	種類	(制 征	卸方式	()	自励式電圧	型電流制御方式				
抄	色 過 智	直 流	制限	値	別紙1-(6 %	%	%	%	%
置	空 突	入 電	流	値	なし	A	A	A	A	A
	電圧上昇	調整	可能範	i 囲	107~1	13 V	~ V	~ v	~ v	~ v
	抑制機能	申請	整定	値	希望する	値 V	V	V	V	V
蓄	電池気	官 格 出	1 力 *	5	0.2	k W	k W	k W	k W	k W
	※電気方式		線式	蓄電池	あり)のとき	/ス設置	□ 絶縁トランス設置	□ 絶縁トランス設置	□ 絶縁トランス設置	□ 絶縁トランス設置
	はいっ	ずれかにラ	ナエック		<u> </u>	/ 人 内 蔵型	□ 絶縁トランス内蔵型	□ 絶縁トランス内蔵型	□ 絶縁トランス内蔵型	□ 絶縁トランス内蔵型

※1:既設設備についても記入のこと。

imes 2 : 三相 3 線式の場合は、接地方式を記載するとともにパワコンの仕様及び主回路構成の分かる仕様書または技術資料を

添付のこと。 (接地方式がない場合は、「-」で可)

※3:力率1の時の定格出力を記入のこと

※4:最大出力は、仕様書やPCS製造メーカーに確認の上、誤りがないように設定力率時のパワコン出力を記入のこと。

(例) <皮相電力一定制御の場合> (パワコン容量<パネル容量)

10kVA (設備容量) ×0.95 (設定力率) =9.5kW (設定力率における最大出力) ⇒9.5kWを最大出力の欄に記入

<有効電力一定制御の場合>

10kVA (設備容量) =10kW (設定力率における最大出力) ⇒10kWを最大出力の欄に記入

※5:パワコンの負荷側に太陽光と蓄電池を同時併設する場合のみ入力のこと。

※6:三相3線式では、商用側(電力会社低圧系統)に連系する場合、絶縁トランスの設置が必要。

系統連係資料 (太陽光発電·蓄電池設備同時併設)

九州電力送配電株式会社 殿

下記契約名義の申込みを行うにあたり、パワコンの負荷側(直流側)に太陽光と蓄電池を新規で同時併設(一体型パワコンなど)するため、様式1-2系統連系資料(太陽光発電)に蓄電池定格出力を記入の上、様式1-2にて一括申込みを行います。

このため、様式1-3系統連系資料(太陽光発電以外)の代替として様式1-3系統連係資料(太陽光発電・蓄電池同時併設)を提出します。

ご契約名義:	

以上

別紙1

機種別整定値一覧

品種	①型式	②JET認証番号	③ 定格出力	④発電機容量	⑤力率	⑥過電流 制限値	⑦力率一定制御	⑧力率変更 可否	9UFR	@OFR	⑪受動式 整定値	迎能動式 整定値	13UFR	⑭UFR 制定範囲	⑤OFR 制定範囲	
	HQJP-K30-A2	MP-0132	2.85kW	3.0kVA	95%	120%	皮相電力一定制御	変更可	58.8Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
	HQJP-K40-A2	MP-0128	3.80kW	4.0kVA	95%	115%	皮相電力一定制御	変更可	58.8Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
	HQJP-K55-A2	MP-0127	5.23kW	5.5kVA	95%	111%	皮相電力一定制御	変更可	58.8Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
屋内用集中型	НQЈР-КА30-3	MP-0184	3.0kW	3.16kVA	95%	114%	有効電力一定制御	変更可	57.0Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
	HQJP-KA40-3	MP-0186	4.0kW	4.63kVA	95%	113%	有効電力一定制御	変更可	57.0Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
	HQJP-KA55-3	MP-0185	5.5kW	5.79kVA	95%	112%	有効電力一定制御	変更可	57.0Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
	HQJP-M55-A2	MP-0066	5.23kW	5.5kVA	95%	111%	皮相電力一定制御	変更可	58.5Hz	61.0Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.5~63.0Hz (step 0.5Hz)	
屋外用集中型	HQJP-V44-A2	MP-0160	4.4kW	4.63kVA	95%	140%	有効電力一定制御	変更可	57.0Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
连///J宋·[·王	HQJP-V55-A2	MP-0154	5.5kW	5.79kVA	95%	111%	有効電力一定制御	変更可	58.8Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
	HQJP-MA55-3	MP-0189	5.5kW	5.79kVA	95%	122%	有効電力一定制御	変更可	57.0Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz 2秒		57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
屋外用マルチ型	HQJP-R46-A1	MP-0049	4.37kW	4.6kVA	95%	113%	皮相電力一定制御	変更可	58.5Hz	61.0Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.5~63.0Hz (step 0.5Hz)	
生///11(7//) 主	HQJP-R59-A1	MP-0031	5.61kW	5.9kVA	95%	110%	皮相電力一定制御	変更可	58.5Hz	61.0Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.5~63.0Hz (step 0.5Hz)	
	HQJP-R44-A2	MP-0123	4.18kW	4.4kVA	95%	114%	皮相電力一定制御	変更可	58.8Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
屋外用マルチ型	HQJP-R55-A2	MP-0122	5.23kW	5.5kVA	95%	111%	皮相電力一定制御	変更可	58.8Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
(三/1/13 1/1/) 主	HQJP-RA44-3	MP-0187	4.4kW	4.63kVA	95%	122%	有効電力一定制御	変更可	57.0Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.4Hz (step 0.6Hz)	60.6~63.0Hz (step 0.6Hz)	
	HQJP-RA55-3	MP-0188	5.5kW	5.79kVA	95%	122%	有効電力一定制御	変更可	57.0Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.5Hz (step 0.6Hz)	60.5~63.0Hz (step 0.6Hz)	
ハイブリッドパワコン	HQJB-H55R-A1	MD-0027	5.5kW	5.79kVA	95%	5% 117% 有効電力一定制		変更可	57.0Hz	61.2Hz	8°	1.2Hz	2秒	57.0~59.5Hz (step 0.6Hz)	60.5~63.0Hz (step 0.6Hz)	

①型式 設置するパワコン品番を記入してください

②JET認証番号 仕様書の取得認証のページの「JET認証」の「認証登録番号」を参照

③ 定格出力 仕様書の定格仕様のページの「定格出力」の欄を参照 ④発電機容量 仕様書の定格仕様のページの「定格出力」の欄を参照

⑤力率 電力会社の指示に従ってください。整定範囲は仕様書の定格仕様のページの「定格力率」の欄を参照。

⑥過電流制限値 仕様書の保護機能のページの「交流過電流」;定格仕様のページの「系統連系入出力(交流)」の「入出力定格電流の出力の値」を四捨五入で記載。

⑨⑩UFR、OFR 仕様書の保護機能のページの「OFR」「UFR」の欄を参照 ⑪⑫単独運転整定値 仕様書の保護機能のページの「単独運転検出」の欄を参照

出力制御機能付PCS仕様(諸元/原則はインターネット接続です。

1	出力制御	甲スケジュ	レール運	用方法	<u> </u>	- I		更新スケジュール(インターネット回線あり) ・ 固定スケジュール(インターネット回線なし) ※原則、更新スケジュールを選択、固定スケジュールは、山間部等でインターネットが構築できない場合のみ選択可														
2	発電所II	O必要数						必要数														
3	出力制御	即機能付	PCS メーカ	カ−名•型式	•		_	[狭義 PCS] [出力制御1 <u>-</u> 9		機、別紙 1-① × 系列数 ルに記載の発売元名、 型式:電力検出ユニ	ットの品番											
4	既設を含	む各PC	S系列の	諸元ほか	(増設時の	<u>み記載</u>)				ンのメーカー名は、三洋電機を、												
	PCS	適用	PCS	契約	パネル容	量[kW]	PCS 名	字量[kW]		出力制御ユニットのメーカー名は、ユニットの発売元社名 備 考 を記入してください。												
	系列	/レー/レ ※1	変更 有無	容量 [kW]	変更前	変更後	変更前	変更後	使用数	(機器構成単位で記載)	※出力制御機能以外の仕様変更 (連系協議関連事項のみ) ^{※2} など											
*										設分は全て指定ルールとなります。 してください。												

- ※2 出力制御機能以外の仕様変更(連系協議関連事項のみ)がある場合は資料を添付してください。
 (連系協議での取決事項等から逸脱していることが確認された場合は、保安上の問題から発電停止に向けた調整をさせていただくことがあります)
- ※3 出力制御機能付 PCS の出力変化時間は 10 分に設定してください
- ※4 <u>出力制御機能付 PCS の設置及び設定(インターネット回線構築を含む)は発電開始日までに実施ください。なおインターネット回線構築が発電開始時に</u>間に合わない場合は、固定スケジュールを必ず設定ください。[施工店・工事店様へは早めにご相談ください]

【九電送配記入欄】

受電地点	エリア	コート゛	高低区分	無作為連番													電社采り.									
特定番号			0																			電仕番号				<u> </u>